

のぼのばかわら版

DC シューズ



スケートボード文化を発祥とし、ファッションブランドとして愛されるDCが安全靴を発売します。

12月の大阪展示会で展示します。展示会限定で初回特典をご用意する予定なので、ぜひともご来場ください。チラシ同封

HSK208S

チラシ同封

舗装用安全靴のHSK208がリニューアルしました。

クッション性に優れた発泡ウレタンと耐熱性に優れたラバー素材を特殊製法で組み合わせることで、新型ソールに進化しました。

従来モデルと比べて耐熱性能が約20%向上し、軽量化にも成功。

クッション性もUPしました。25・27・28cmを在庫します。

N-615 がっちりハンド

タッチパネル対応の、発泡天然ゴムコーティング、15G背抜き手袋の新商品です。

ヘッダーに「タッチパネル対応」と書かれた赤いシールがつかます。この赤シールと黄色い原手が数ある手袋の中で存在感を放ちます。

サイズはS、M、Lの3サイズ。是非とも在庫のご検討よろしくお願ひします。

新製品



N-615 がっちりハンド

ユニバーサルオーバーオール UOPソックス新商品

ユニバーサルオーバーオール
売れ行き好調の「UOソックス」

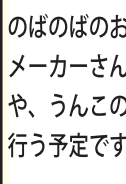
に5つの新デザインが追加です。要望の多い黒ベースのデザインをメインに揃えました。

チラシ同封

働くのばちゃん Vol.432



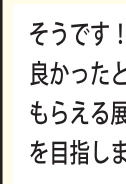
商品管理の千葉です！
展示会ではどんな
展示をするんですか？



のぼのばのお取り扱い
メーカーさんの新商品
や、うんこの展示も
行う予定です！



TSさんとおたふく
さんも同じ会場だ
と聞きました！



そうです！行って
良かったと思って
もらえる展示会
を目指します！



新製品

カジュアルさが人気の商品です。
先丸が3種、5本指が2種です。
発売は年末、年始辺りですので、
またお知らせします。
是非ともご検討お願いします。

UN26539090

新製品



UN26539120 UN26539180

に仕上がっています。
サイズ毎に違うカラーで作っているの、重ねた状態でもひと目でサイズを見分けられます。
同封の冊子をご覧ください。

発行者 (株) のぼのば

〒246-0001 仕事を楽しくする作業用品の企画販売会社

神奈川県横浜市瀬谷区卸本町9279-37

TEL 045-921-3561 FAX 045-921-5337

<http://www.yetian.com/>

毎月20日発行 第432号

UOP2026SS

チラシ同封

ユニバーサルオーバーオールの
2026SS紹介です。

養生マットやインナー等、少し
変化を付けた商品も展開予定です。

養生マットは紺、グレーなどの
暗めな色のイメージがありますが、
あえてブランドを象徴する配色を
使用することで、他にはない商品

12月2日～12月5日まで大阪で展示会を開催します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

微妙な距離感

先日「のぼお」は、微妙な体験をしました。

ある会社の社長さんと、サシで食事に行く事になったのです。

二人で食事するのは初めてです。

「ワモテな社長さんは、少くし近寄り難い雰囲気です。」

「普通に食事をしただけでは本性を出してくれないかも、」

「じっくり話せる場所がいいな」

「のぼお」は、会社の近くにある天然温泉宿「万〇〇湯」に泊まりで行く事を計画しました。

「宿」は本当に会社に近く、車で2分ほどですから翌日の仕事にも影響しません。

夕方現地で集合

「では、15分後くらいに大浴場でお会いしましょう」

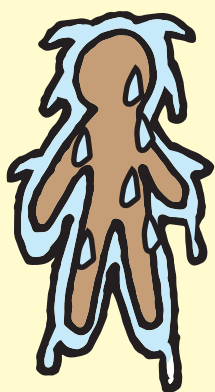
お互い時間前に着いていました。さて、お風呂場に向かいます。

お互い、小さいタオルで前の方を隠して歩いて行きます。

身体を洗うのに、一個飛ばしに座ったのを覚えています。

湯船に入る時には、2メートルくらい離れました。

周りは汗の膜です



周りは汗の膜です

「のぼお」と社長さんは、熱気のすごい一番前に座りました。1分としないうちに汗ダクです。社長さんも汗が吹き出ています。「のぼお」は、汗が流れ出ていると言うより、体に汗の膜が貼っている様に見えます。

鍛えてんのかな
すげえな



強そうだな
意外とあれが
あれなんだなあ

まだ遠慮があるのです。そして、恐るべき事件が起きてしまったのです。

「私、サウナが好きなんですよ」

社長さんが言いました。

「そうなんです、僕もです」

「のぼお」は、本当は狭い空間が

苦手でしたが合わせました。

「のぼお」と社長さんは、熱気のすごい一番前に座りました。

1分としないうちに汗ダクです。

社長さんも汗が吹き出ています。

「のぼお」は、汗が流れ出ていると言うより、体に汗の膜が貼っている様に見えます。

痩せてきた社長さんは遂に言いました。

「のぼおさん、」

「そ、そろそろ出ませんか？」

「はいっ！」

二人は逃げるように、サウナ室から出ました。

目を合わさず、シャワーを浴び、「次は、やっぱり水風呂ですよ」と、社長さんが言いました。

「もちろんです！」

二人は、かなり冷たい水風呂に入りました。

社長さんは「あ、これは大した事ないな、いつもはもっと冷たいのに入っています」

「サウナ、水風呂を何度も何度も繰り返すのが、私の休みの過ごし方です。慣れっこですよ」

二人は話もせず、ジッと冷たい中に入っていました。

「のぼお」は、あまりの冷たさに

鳥肌が立ってきました。

よく見ると社長さんもブルブルと揺れています。

「どうしたら、」

社長さんの唇が真っ青になった

時「のぼお」は言いました。

「で、出ましようか？」

「そうですよね！」

もう出たい...

凍っちゃうよ...
さっきと逆だ...



遠慮？

「慣れっこ」と、言ってしまった社長さんは、自分からは言い出せなかったんです。

「よかった、」

「のぼお」も

「このまま凍ってしまうんだな」

と思っていましたから。

どうしようアレ欲しい...

遠慮？



きっと社長さん好きなんだろうな

最後の一枚は食べれないよ